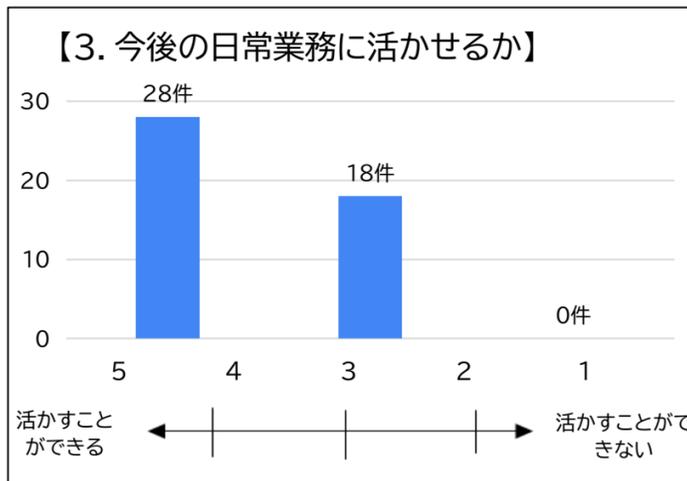
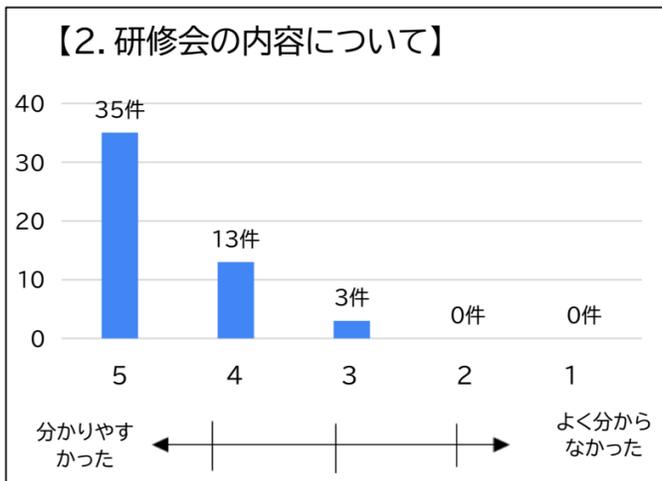
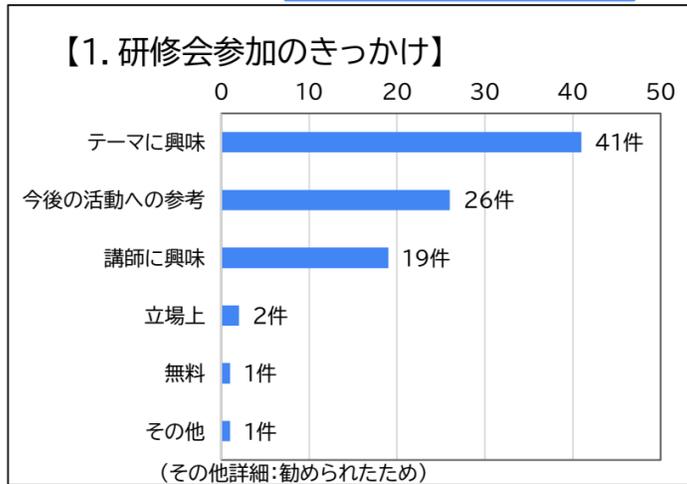
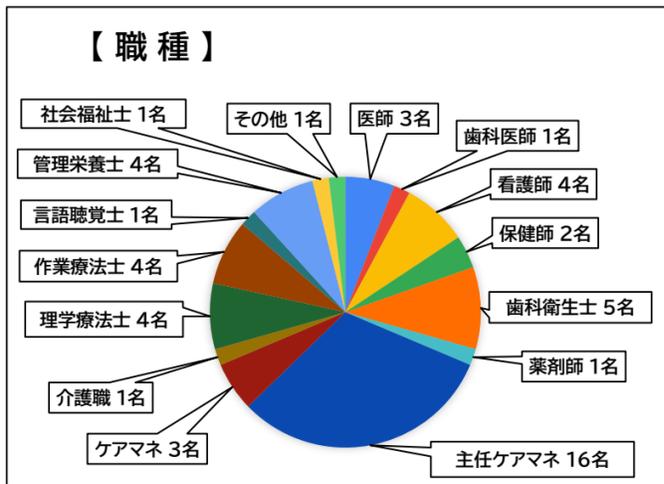


主任ケアマネジャーフォローアップ研修会(令和6年11月22日開催)
 「口腔・栄養・リハビリの連携がもたらす在宅リハビリの進化」
 ～スウェーデンでの知見を交えて～

参加者数:52名
 アンケート回答者数:51名
 アンケート回収率:98.1%



3. 今後日常業務に活かそうですか その理由等 (抜粋)

活かせる

5	自己決定の大切さ
	ACPも含め、支援するものとしての考え方の幅が広がったと思う。
	日々の業務の中でもう一度、コーチングを学び活かしていきたいです。地域活動の大切さを改めて感じる事が出来ました。
	リハビリ、栄養、口腔の三位一体での支援が、その人の健康や生活の質に大きく影響してくることだと思うので、今後の支援につなげていきたい。
	どう生きたいか?そのためにどんなことする?聴いて、一緒に考えていきたいです。
	サルコペニア予防することが色々な効果をもたらすことが分かったので、現場で実際行うことがやりがいにつながる
	口腔・栄養・リハの大切さを実感できましたので、自分たちの職場、自分の考え方に取り入れ、自分の物にしたいです。
	ディスカッションを通して他職種と話せたことが勉強になったことと意見が聞けたことが大変勉強になった。
4	お茶会によるフレイル予防など、具体的な取り組みが聞けた事。コーチングについて学んでいこうと思いました。
	三位一体の考え方が広がることにより、他職種との連携が効率的になる。
	「人生の最後はどうだい?」を考えながら日々業務をしていきたいと思えます。
	自分らしく生きるという事を日常生活の中でご利用者も自分自身も考えていく事が、より良い生活につなげられると思ったので。
	仕事の領域が異なりますが、考え方は同じだと思います。ぜひ活用したいと思えます。
3	普段の患者様との会話の中で質問の仕方を工夫してみようとするきっかけになった。人生最期にどうなりたいか。何を食べると幸せか。
	意思決定に関して積極的に、自己決定を勧めていきたい。
	地域づくりの一つとして生かしていきたい。

活かすことができない

4.今日の講演で、一番印象に残ったこと（抜粋）

”どのように生きていきたいのか”←とても大切
食べられないのは本人のせい。転んだのは本人のせいという言葉は衝撃的でした。
今後、“自助”が大切となる事
ST,PT,OT、リハ分野の方々が、それぞれでの勉強会だけでなく、合同での勉強会や意見交換会を開催するのは良いと思った。
ACPです
今までの考えの中に少しでも「何をしたい?」「どうしたい?」を含めた考えをして行けたらと思います。
自分のやりたい事を見つける=教育
人生の最後はどうありたいか、なりたいか、高齢者が楽しそう(スウェーデンで)
文化の違いが人生に影響する事を実感
スウェーデンでは医療にかかれない。救命をそんなに頑張らない。→そんなになっても生きていきたいのか? そうだよなあと実感した。
自分(家族)のために働く(生きる)というスウェーデンの人々の考え方を、自分も見習って生きていきたいと思いました。ありがとうございました。